

院内がん登録は、当院でがんと診断したり治療を行った、すべての患者さんのがん情報を登録する仕組みです。また、2016年からは「がん登録等の推進に関する法律」により、すべての病院で全国がん登録が始まりました。

これらは、国や自治体では、がん検診等の公共事業の指標として利用されます。また、各医療機関では、がん診療を分析し、医療の質を上げるために利用します。ですから「院内」と呼ばれていても、全国で登録方法が統一されています。

登録項目等、詳細は、国立がん研究センターのホームページをご覧ください。

[☞https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html)

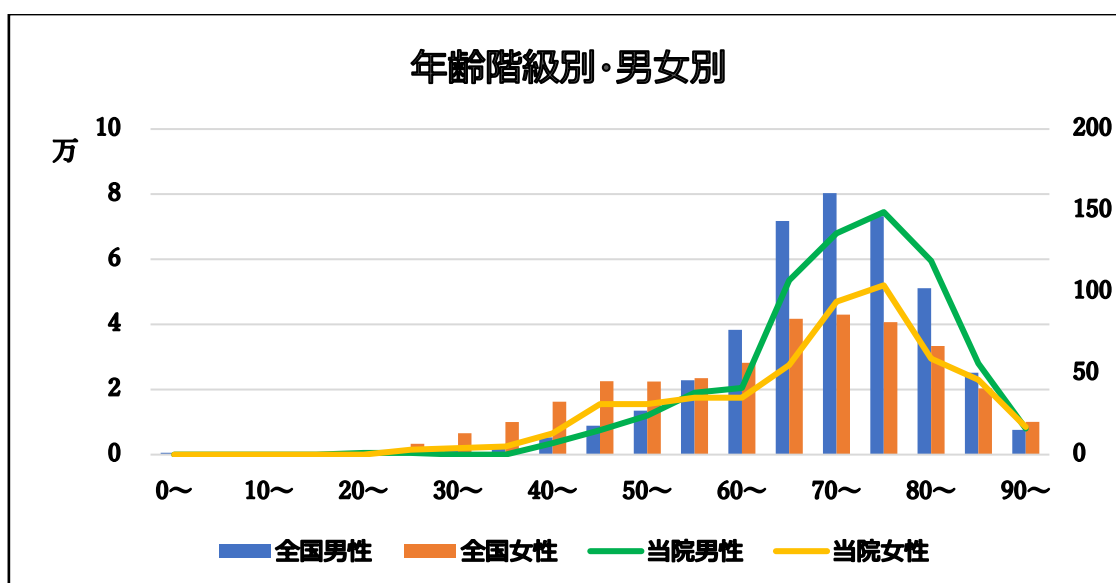
【年齢】

がんと診断された時の年齢です。全国平均は70歳で、当院は71.3歳でした。

全国平均	当院平均
70.0歳	71.3歳

施設別にみた75歳以上の患者さんの割合です。当院は、75歳以上の患者さんの割合が、全国的にみると少し多いことがわかります。

中央値	最小値	最大値	当院
41.6%	0.0%	74.6%	45.6%



がんと診断された時の年齢を5歳刻みで表しました。棒グラフは全国、折れ線グラフは当院の患者さんです。

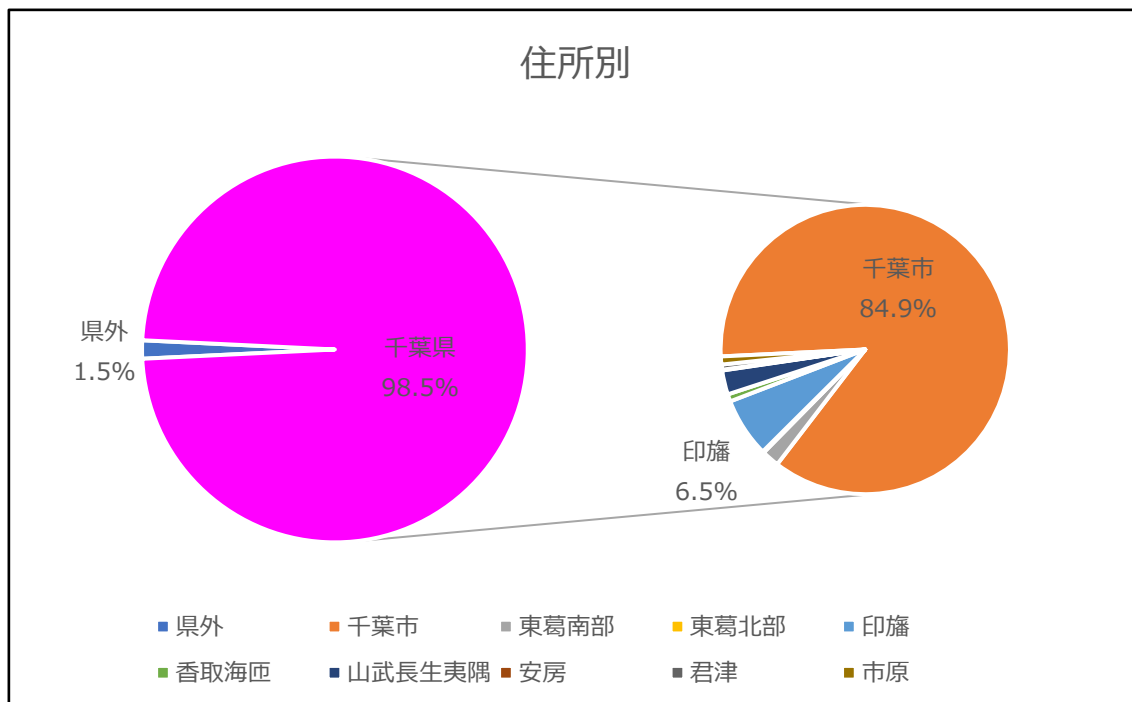
男女とも、全国では70代前半が一番多く、当院では70代後半が一番多いです。

また、全国・当院とも、50代前半までは女性の方が多く、50代後半でほぼ同数となり、60代で男女逆転してからは男性の方が多くなって開きが出ます。乳がん、子宮がんといった女性特有のがんは、他のがんに比べて若い世代でも罹患しやすいことが影響していると思われます。

【住所】

同一都道府県から来院している患者さんの割合です。当院は、全国平均に比べて県内の患者さんが多いです。

全国平均	最小値	最大値	当院
92.7%	73.2%	99.4%	98.5%



当院の患者さんが、がんと診断された時の住所を二次医療圏ごとに表しました。84.9%が千葉市内の人で、次いでお隣の印旛医療圏の人が多いです。

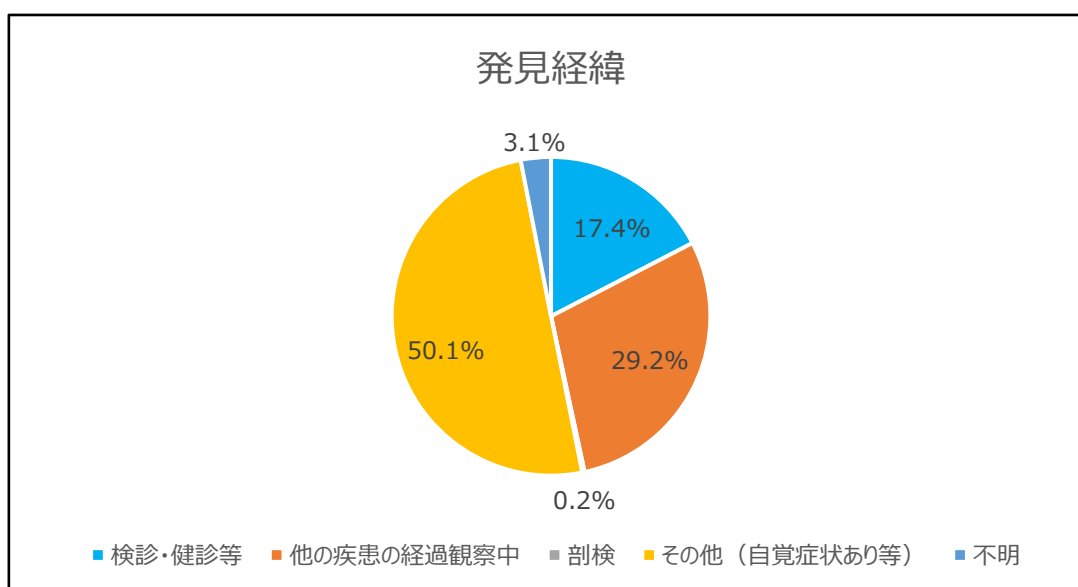
《千葉県の二次医療圏》

二次医療圏名称	構成市町村
千葉市	千葉市
東葛南部	市川、船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷、浦安
東葛北部	松戸、野田、柏、流山、我孫子
印旛	成田、佐倉、四街道、八街、印西、白井、富里、酒々井町、栄町
香取海匝	銚子、旭、匝瑳、香取、神崎町、多古町、東庄町
山武長生夷隅	茂原、東金、勝浦、山武、いすみ、大網白里、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町
安房	館山、鴨川、南房総、鋸南町
君津	木更津、君津、富津、袖ヶ浦
市原	市原

【発見経緯】

住民検診や職場健診・人間ドック等、自覚症状がないうちにがんが発見された人の割合です。早期発見のためには、この割合が増加することが理想とされています。

全国平均	最小値	最大値	当院
14.5%	0.0%	39.4%	17.4%



当院のがん患者さんが、なにをきっかけに病院にかかったのかを表しています。早期発見・早期治療のために、自覚症状がなくても健康診断を受けることをお勧めします。また、なにかおかしいと感じたら、早めに受診しましょう。

【部位・種別治療別】

当院で、初発の患者さんにどのような治療を行ったのかを部位とがんの種類ごとに件数で表しました。胃に腫瘍があっても悪性リンパ腫ならば「悪性リンパ腫」に分類しています。がんの種類によって治療の選択肢が異なるためです。

院内がん登録は、再発した患者さんに行った治療は登録しないなど、全国で統一したルールがあります。そのため、手術を行っていても「治療なし」となるなど、実際の治療内容とは異なる場合があります。

9件以下については、患者さんの特定を避けるための表示ルールに則り「1-3」「4-6」「7-9」の3段階に分けて表示しています。

部位	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+ 放	手/内+ 薬	手/内+ 他	手/内+ 放+薬	他	治療なし	合計 (件)
口腔・ 咽頭	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)	0	0	0	15	22
食道	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(1-3)	(7-9)	(4-6)	0	0	(4-6)	0	0	0	16	43
胃	30	38	(1-3)	0	13	(1-3)	0	0	14	0	0	0	33	131
結腸	63	29	(1-3)	0	(1-3)	0	0	0	33	0	0	0	23	152
直腸	12	13	(1-3)	0	(1-3)	0	0	0	15	0	(1-3)	0	15	60
肝臓	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	(7-9)	0	0	(1-3)	0	(4-6)	14	36
胆嚢・ 胆管	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	19	22
膵臓	(1-3)	0	0	0	16	(1-3)	0	0	(7-9)	0	0	0	21	49
喉頭	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	(4-6)	(7-9)
肺	64	0	0	(1-3)	42	(1-3)	0	(1-3)	5	0	0	0	86	204
骨・軟 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
皮膚	25	0	0	0	3	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(7-9)	37
乳房	(7-9)	0	0	0	(4-6)	(1-3)	0	10	49	0	50	0	24	148
子宮頸 部	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(7-9)	20
子宮体 部	(7-9)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	15
卵巣・ 卵管	(4-6)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(4-6)	0	0	0	(4-6)	14
前立腺	(4-6)	0	0	0	46	0	0	(7-9)	0	0	0	0	30	89
膀胱	0	0	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)	(1-3)	25	0	0	(4-6)	33

腎・尿管	(7-9)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)	0	0	0	0	13	26
脳神経	(4-6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	0	25	31
甲状腺	(7-9)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(4-6)	11
悪性リンパ腫	(1-3)	0	0	0	(7-9)	0	0	0	(1-3)	0	0	0	19	31
多発性骨髄腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
白血病	0	0	0	0	(1-3)	0	0	0	0	0	0	0	(4-6)	(7-9)
他の血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11
その他	(7-9)	(1-3)	0	0	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)	0	(1-3)	0	22	36
合計	266	88	(7-9)	(7-9)	159	16	(7-9)	23	144	26	54	(4-6)	434	1,241

《表の略称と治療内容》

略称	治療の内容
手	手術のみ※1
内	内視鏡のみ
手+内	手術+内視鏡
放	放射線のみ
薬	薬物のみ※2
放+薬	放射線+薬物
薬+他	薬物+その他
手/内+放	手術/内視鏡+放射線
手/内+薬	手術/内視鏡+薬物
手/内+他	手術/内視鏡+その他
手/内+放+薬	手術/内視鏡+放射線+薬物
他	その他治療※3/その他の組み合わせ
治療なし	治療なし※4

※1 外科的治療と体腔鏡的治療のいずれか、または両方を行っている場合

※2 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法のいずれかひとつ、または複数を行っている場合

※3 肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のうちひとつ、または複数を行っている場合

※4 当院で「がん」と診断し他院に紹介した場合、他院で治療をした後に再発などで紹介

された場合、患者さんの身体状況やがんの進行度合いから積極的な治療を行わずに疼痛をやわらげる治療を行った場合等